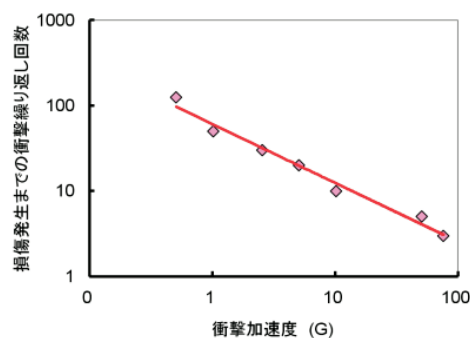
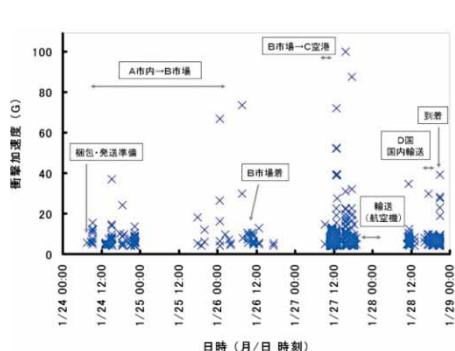


野菜や果物は、いつ・どこで傷む？ —青果物輸送中の損傷発生予測—

技術の特徴

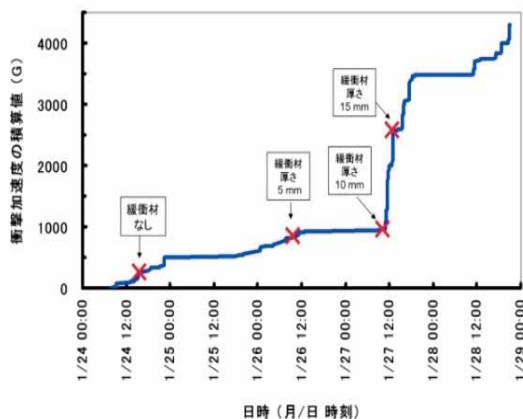
- ・輸送中の衝撃環境の解析と品目における衝撃1回当たりの損傷度から損傷発生地点を予測。
- ・輸送条件に対応した包装設計をサポート。

研究の内容



1. 輸送中の衝撃発生状況の調査

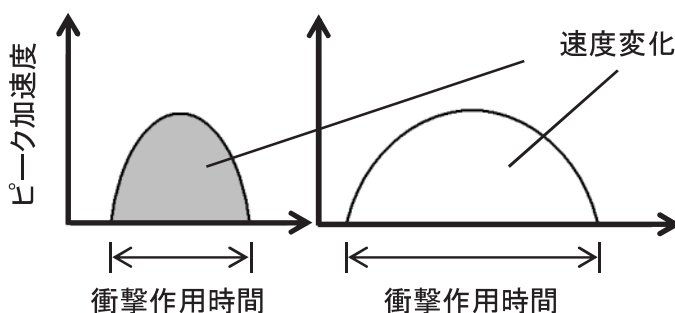
2. 損傷特性評価(イメージ)



3. 輸送中における損傷発生箇所の予測

今後の展開

- ・衝撃加速度と速度変化の二要因を考慮した新たな損傷予測モデルの構築



衝撃加速度が同じでも速度変化が異なれば、
衝撃1回当たりの損傷度も異なるのでは？

参 考

- ・北澤ら:「蓄積疲労を考慮した青果物のための新たな損傷予測理論の構築(第1報)繰り返し衝撃によるイチゴの損傷発生」. 日本包装学会誌. 21(2), 125-132 (2012).
- ・北澤ら:「イチゴ輸送中の衝撃解析と損傷発生予測」. 園芸学研究. 9(2), 221-227 (2010).



農研機構
食品総合研究所



代表研究者: 北澤 裕明(きたざわひろあき)
所 属: 食品工学研究領域
食品包装技術ユニット

問合わせ先: 029-838-8037 ktz@affrc.go.jp